

区画整理だより

篠原土地区画整理事業

平成29年10月発行

第11号

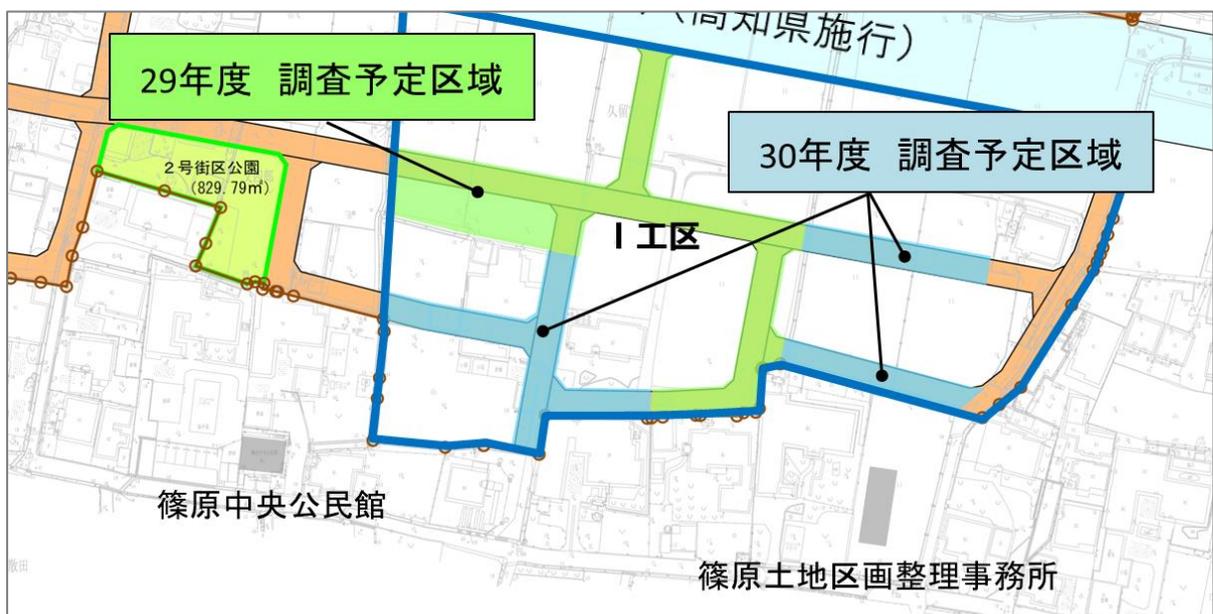
南国市都市整備課土地区画整理係
☎088-821-7373

埋蔵文化財の発掘調査がはじまりました

10月から施行地区内の埋蔵文化財の発掘調査が始まりました。来年度に着工するⅠ工区の主に区画道路部分を対象に、以下の日程で調査を行います。

長期間の調査となりますが、地域の歴史を明らかにし後世に伝えるための重要な調査ですのでご理解とご協力をお願いします。

調査期間	平成29年10月～平成30年10月（予定） （引き続いてⅡ・Ⅲ工区の発掘調査を行う予定です）
調査時間	8：30～17：00（土・日・祝日を除く平日）
調査機関	南国市教育委員会
問合せ先	生涯学習課 文化財係（☎088-880-6569）



事業説明会を開催しました

平成 29 年 9 月 15 日（金）に篠原土地区画整理事務所で事業説明会を開催しました。説明会では街区・道路設計、移転補償などについて説明を行いました。

説明会で質問をいただいた消火栓等の消防水利の整備につきましては、施行区域内の公園（2箇所）に耐震性貯水槽の整備を行うとともに、本事業、（都）高知南国線及び流域下水道事業に伴う上水道管の整備に併せて、計画的に消火栓の整備を進めていきます。



審議会・評価員会を開催しました

平成 29 年 6 月 30 日（金）に第 8 回審議会と第 6 回評価員会を合同で開催しました。会では仮換地指定の報告や今後の事業工程の説明などを行いました。

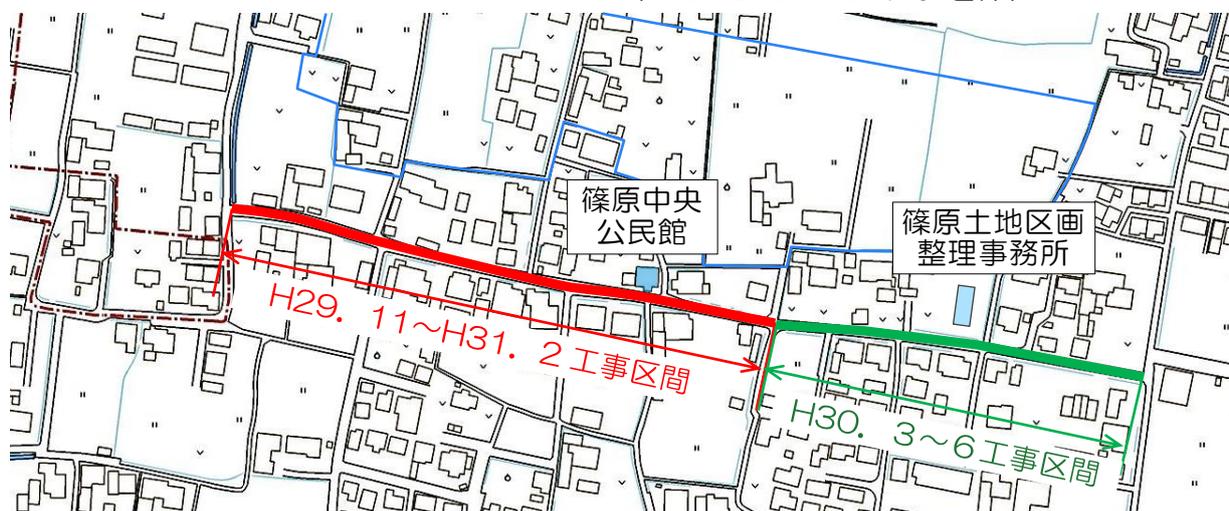
下水道工事のお知らせ

本年 11 月より篠原中央公民館南の市道において、以下のとおり下水道管の新設工事と水道管の改良・給水工事を行います。工事期間中は工事区間の通行止めや一時的な断水が生じます。ご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

工事期間 平成 29 年 11 月～平成 31 年 2 月（予定）

作業時間 8：30～17：00（日曜・祝日を除く）

問合せ先 南国市上下水道局（☎863-1236 上水道施設係）
（☎880-6563 下水道係）



※引き続き雨水排水の整備工事を行う予定です。

次のような場合は、事前相談や届出をお願いします



1. 相続や売買及び分合筆等により登記変更を行う場合

施行地区内の土地の売買や相続など権利の移転及び分筆・合筆等に制限がかかることはありません。ただし、仮換地の指定変更などが必要となる場合がありますので、売買等により登記変更を行う際には、必ず施行者に事前にご相談くださるようお願いいたします。

また、所有権の移転を伴う場合は仮換地指定や清算金の権利義務等が新しい権利者に継承されますので、当事者間でこれらの事項の申し送りをお願いいたします。

2. 建築等を行う場合

施行地区内で次の行為を行う場合は、市長の許可が必要となりますので、事前にご相談ください。

- ◇土地の形質の変更（盛土、掘削等）
- ◇建築物、工作物の新築、改築、増築
- ◇移動の容易でない物件（重量5 t 超）の設置又は堆積



平成29年度担当職員を紹介します

4月の人事異動に伴い2名が異動となりました。また、本年度より業務が始まる移転補償の実務経験者を嘱託職員として新たに採用しています。

本年度は以下の体制により事業に取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

■都市整備課

課長	若枝
課長補佐	野口
土地区画整理係	係長 森岡（事務）
	技幹 米持（土木）
	主査 土居（事務） ※上下水道局より異動
	技師 西田（土木） ※採用
	嘱託 山崎
	嘱託 林 ※採用



～ 篠原の地下に広がる弥生時代の大集落 ～

南国市には、弥生時代の拠点集落として知られる田村遺跡群があります。現在の空港周辺に南北約2kmに渡って広がっている県内最大の遺跡で、これまでの発掘調査で500棟近い弥生時代の竪穴建物跡が発見されています。この集落は弥生時代前期の始まり（約2800年前）から後期（約1900年前）まで時期ごとに位置を変えながらかなり長期間続きますが、その後、集落は縮小していきます。

その一方で、周辺にいくつも大規模な集落が出現するようになり、特に長岡台地縁辺部の年越山の周囲には東崎遺跡や祈年遺跡、小籠遺跡などが見つかっています。これらの集落は弥生時代後期頃を始まりとして100～200年程度の期間しか続きませんが、多くの竪穴建物が造られています。



--- 長岡台地の範囲

この頃の集落の一つが篠原にある若宮ノ東遺跡で、現在（公財）高知県埋蔵文化財センターが都市計画道路高知南国線の発掘調査を進めています。これまでに40棟を超える竪穴建物跡が見つかっており、今後も増えていくことが確実視されています。

10月からは南国市教育委員会による施行地区内の発掘調査も始まりました。祈年遺跡などではあけぼの街道部分だけの調査のため、集落がどのように広がっているのか分かっていませんが、若宮ノ東遺跡では東西南北の広がり確認できるため、遺跡の範囲も判明する画期的な調査になることが期待されます。

さらに、集落には住居以外にも倉庫や水路、ゴミ捨て穴、墓などいろいろな痕跡が見つかることがあります。こうした発掘調査により、集落の時期的な変遷や、土地利用のあり方、生活の様子など、篠原の弥生ムラの姿を詳しく思い描くことができるようになるでしょう。

若宮ノ東遺跡では、その後の時代の遺構・遺物も見つかっていますので、それは別の機会に紹介します。
(南国市教育委員会)